

【取材のご案内】

「Culture NIPPON シンポジウム in 横浜」を開催します

東京2020オリンピック・パラリンピックは、日本が誇る文化や伝統を世界に伝える絶好の機会です。日本の強みである多様性に富んだ文化を生かし、次世代へのレガシーを創り出す文化プログラム（※）の普及と実施促進を図るため、「Culture NIPPON シンポジウム in 横浜」（主催：文化庁、共催：横浜市ほか）を開催します。本シンポジウムでは、これまでの文化プログラムの優良事例をその担い手から発表します。ぜひ取材にお越しください。

※文化プログラム

オリンピック憲章では、オリンピック・パラリンピックの開催に当たり、複数の文化イベントのプログラムの実施が義務付けられており、東京2020大会に向け、既に多くの文化プログラムが全国で実施されています。

文化プログラムの主な認証制度としては、東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会が主体となって認証する「東京2020 参画プログラム」と、主に内閣官房東京オリンピック競技大会・東京パラリンピック競技大会推進本部事務局と文化庁が主体となって認証する「beyond2020 プログラム」があります。

【シンポジウム概要】

- 1 名称 Culture NIPPON シンポジウム in 横浜
- 2 テーマ 文化プログラム事例発表会 -2020年を越えて、担い手からのメッセージ-
- 3 日時 平成30年2月28日 水曜日 14時～17時（予定）
- 4 会場 横浜美術館 レクチャーホール（横浜市西区みなとみらい3-4-1）
- 5 主催・共催 主催 文化庁
共催 横浜市、横浜美術館（公益財団法人横浜市芸術文化振興財団）
- 6 プログラム
 - (1) オープニングパフォーマンス「Onna Matsumushi（女松虫）」（森田 かずよ/定行 夏海）
 - (2) 主催者挨拶（宮田亮平 文化庁長官）
 - (3) beyond2020 ロゴマークイベント（宮田亮平文化庁長官、岡本信明横浜美術大学学長、横浜美術大学4年 菅原みこによるロゴマーク紹介）
 - (4) 文化プログラム趣旨説明（青柳正規 東京大学名誉教授／前文化庁長官／東京2020組織委員会文化・教育委員長）
 - (5) 事例プレゼンテーション（「ヨコハマトリエンナーレ2017 島と星座とガラパゴス」、
「ヨコハマ・パラトリエンナーレ2017」ほか4事例）
 - (6) 総括・クロストーク（モデレーター：三菱UFJリサーチ&コンサルティング 太下義之
出演者：青柳正規、事例プレゼンテーション登壇者）

※詳細は別添チラシのとおり

※定員に達したため一般の申込受付は締め切りました。

※取材にお越しいただく場合は当日直接会場にお越しください。

お問合せ先

文化観光局文化プログラム推進課長 松元 公良 Tel 045-671-4203